

第2回せたがや子ども気候会議の結果概要

1. 日時

第1部：令和5年8月24日（木）午後5時00分～6時30分

第2部：令和5年8月28日（月）午前9時00分～10時30分

※多くのメンバーが参加できるよう、2部に分けて実施（内容は同じ）

2. 実施方法

オンライン（Zoom）

3. 内容

（1）開会の挨拶（環境政策部長）

（2）講義「みんなで気候危機について確認」（環境計画課長）

（3）グループワーク「どんなことができるか考えよう」

第1部：4名×3班

第2部：3名×2班、2名×1班

※各班にファシリテーターと記録係

（4）リーダーによる発表「グループワークでの意見、感想など」

4. 参加者数

第1部：12名

（小学6年生7名、中学1年生1名、中学2年生2名、中学3年生2名）

第2部：8名

（小学6年生1名、中学1年生2名、中学2年生2名、中学3年生3名）

5. 庁内出席者

環境政策部長、環境計画課長、事務局5名

6. グループワークで出た主な意見

- ・食品ロスは、生ごみを燃やす際の二酸化炭素排出だけでなく、食品の運搬の際の二酸化炭素排出など、多方面で地球温暖化に影響があるので、対策が必要。
- ・プラスチック削減のために、マイボトルの使用が必要。
- ・環境にやさしい製品の購入を心掛ける。
- ・環境に配慮した取組みを、なるべく多くの人が行うことが大事。
- ・コンポストの取組みの推進。
- ・24時間営業の店やイルミネーションは、電力を大量に消費している。
- ・二酸化炭素の吸収する方法についても考える必要がある。

7. リーダーのグループワークの感想

- ・いろいろな視点からの意見を聞いて良かった。
- ・ほかの参加者が積極的に環境問題に取り組んでいたのも、自分もやらなければと思った。
- ・日ごろの消費行動でも、二酸化炭素排出のことを考えていくことが大事だと思った。
- ・みんなの意見を聞いて、さらに環境に対する考えを深めていきたい。
- ・子どもの意見を取り入れる場を設けてほしい。